

2023 年度診療実績

【呼吸器内科】

2023 年度の呼吸器内科の外来診療実績は、延べ患者数は 6943 名で、肺癌、気管支喘息・COPD、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、サルコイドーシスなど幅広い症例を診療しています。肺癌の外来化学療法や重症気管支喘息の生物学的製剤による治療が増加してきています。また、新病院になって睡眠時無呼吸症候群や II 型慢性呼吸不全に対する在宅非侵襲的人工呼吸(NPPV)療法にも力を入れています。初診・初療患者数は 934 名で、多くは近隣の開業医の先生方からご紹介いただいています。初診・初療患者では上記のような疾患に加え、胸部異常陰影や咳嗽、呼吸困難の精査など様々な患者様に対応しています。

延べ入院患者数は 759 名で、平均在院日数は 15.4 日です。誤嚥性肺炎・肺炎 288 名(38%)、感染症内科と協力し新型コロナウイルス感染症 145 人(19%)、肺癌などの悪性腫瘍 108 名(14%)、間質性肺炎 57 名(8%)、気管支喘息・COPD 増悪 38 名(5%)、睡眠時無呼吸症候群 27 名(4%)、気胸 17 名(2%)などが主たる疾患です。誤嚥性肺炎・肺炎のほとんどは当院救急外来を經由して入院しています。肺癌は肺癌診療ガイドラインに沿って化学療法、放射線療法に加え、免疫チェックポイント阻害剤を積極的に使用しており、熊本大学病院呼吸器外科のご協力により手術（16 名）も行っています。

肺癌、間質性肺炎などの診断のため気管支鏡検査、超音波気管支鏡検査(EBUS-TBNA,EBUS-GS)も精力的に行っており、2023 年度の検査件数は 147 件でした。

呼吸器領域の学会や研究会にも積極的に参加し、最新のエビデンスや情報を得て、より良い診療が行えるよう努力を重ねています。

その他、臨床試験や観察研究にも積極的に参加しています。